

水稻苗の播種



5月中旬、育苗センターで水稻苗の播種作業を行いました。ベルトコンベヤで流されている育苗箱に、土を入れ、粃種（もみだね）を播き、水をかけるという工程で機械が作動しています。新入職員は、粃種をセットしたり育苗箱をベルトコンベヤにのせたりして播種作業のお手伝いをしました。

播種作業が終わった育苗箱は、温度管理された倉庫で管理された後、日当たりのよい外に並べられて水が撒かれます。

播種作業は一ヶ月弱行われ、水稻苗約8万2千箱が作られ組合員の方々に供給されました。

